



三次中央会報

ロータリークラブ

2022-2023 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
 TEL (0824) 64-1245
 FAX (0824) 64-1245
 E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
 http://mcrcl.server-shared.com
 例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
 三次グランドホテル
 例会日 / 月曜日 12:30~13:30

■本日のプログラム 三次、吉舎、三次中央 合同例会

■次回例会日時 2023年6月5日(木) 12:30~

■次回プログラム 職業奉仕委員会

■第1385回例会記録

●日時.....2023年5月22日(月) 12:30~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ソング「奉仕の理想」.....全員

●ゲスト紹介

三次市子育て支援課 保育係長 小林大策様

会長 / 沈 勝 義
 幹事 / 中 島 清 貴

●2022~23年度 国際ロータリーのテーマ



●2022~2023年度 三次中央RCスローガン

ロータリアンであることを強くイメージし、奉仕の喜びを分かち合おう

■開会挨拶.....沈 会長

出生率、過去最低となる

皆さんこんにちは。歴史的な広島サミットが開かれ、各方面で話題になっていますが、被爆国で、しかも世界で最初の被爆地である広島でサミットが開催される意義は、計り知れないものと期待しております。世界中で紛争や戦争が発生し、核の使用が懸念されていますが、今回のサミットを期に、核軍縮の機運が大きく広がることを期待して止みません。

本日後半のプログラムは、青少年奉仕委員会担当のゲスト講演となっております。講師としておいただきました、三次市子育て支援課 保育係長の小林様、後ほどよろしくお願ひします。

さて、少子高齢化問題が叫ばれて久しいのですが、特に三次のような地方の田舎町では、若者の流出による人口減少で、高齢化率が進み、当然生まれてくる赤ちゃんの人数も少ないので、ますます過疎化が進んでいるように思います。

尚且つ、最近の出生率を見てみると、男女の二人で結婚し、生まれる子どもの平均人数が1.34人だそうで、尚更地方の人口減少には拍車がかかっているでしょう。

先日、朝の情報番組で、最近の出生率が話題になっていました。特に韓国では、1人の女性が生涯に産む子どもの数である合計特殊出生率が0.78と、

1970年以降で過去最低となり、OECD加盟国の中で最下位だそうです。

その要因として、子どもの教育に莫大な費用がかかり、経済的に困難だということ。特にソウルでは、住居費も高くなっており、生活費にお金がかかる中、子どもの将来を考えて十分な教育が施せるか自信がなく、子どもをあきらめるといった選択になるのだそうです。

また、親心として、他の子どもと比較し、同等以上の環境を整えてやらないと、子どもの将来に対し申し訳ないと思う人も多いのでしょうか。

「親ガチャ」って知っていますか。何が出てくるかを楽しみながら、ガチャガチャ回して出す、おもちゃの販売機からできた言葉なのですが、生まれた家によって、格差があることを「親ガチャ」に外れているとか、当たっているとか...

韓国でも同じように、金の匙をもって生まれたとか、土の匙をもって生まれたとか、自分ではどうしようもない、生まれながらの格差を表した表現です。格差社会の中で、将来に対する不安が大きく、親と



して責任が持てない状況では、なかなか子どもを作ろうといった感覚にはなれないのかなと、心苦しく思いました。

ところで、これまで少子化問題を解決する方法の一つとして、子育て環境の改善とか、経済的な手当などの政策がとられてきたと思います。もちろんそれらは、今子供を育てている現役世帯にとって、とても重要なことではありますが、これから子どもを産み、育てようとする世帯にとっては、子どもの養育対策に焦点を当てるよりも、自分たちの子どもの将来が、心配のない生活が出来ると信じられる社会にならなければ、安心して子どもを産み育てる気持ちになれないのではないのでしょうか。

今日はゲスト講演で、三次市の子育てに関するお話を伺うのですが、ちょっとズレたお話になったようで申し訳ありません。

以上で会長の挨拶を終わります。

■幹事報告.....中島幹事

- 25日は3クラブ合同例会です。会費は3,000円で、当日集金します。なお、5月29日は休会となります。
- 6月5日(月)19時より三次ワイナリーにおいて理事役員会を開催します欠席の方はお早めにお申し出ください。

■次年度幹事.....栗本会員

- 本日19時よりグランドホテルにおいて第2回次年度クラブ協議会を開催いたします。終了後、臨時理事役員会を開催します。

■ゴルフ同好会.....上田会員

会長杯ゴルフコンペを、6月21日(水)に行います。場所は庄原カントリークラブです。

■myさくら.....松本会員

昨日は暑い中、たくさんのご参加をありがとうございました。また、ご寄付をいただいた方、重ねて御礼申し上げます。

■出席報告.....平田委員長

- 第1383回 5月8日

会員数	34名	Make-up	2名
欠席	4名	出席合計	32名
欠席者のうち規定免除	1名	出席率	96.97%

- Make-up...小根森君、石田君
- 第1385回 本日の出席は35名中30名です。

■SAA.....石田SAA

- 会員誕生日...圓道君



●会員ニコニコBOXご出宝

- 圓道君 46歳になりました。毎年、今が全盛期という気持ちで頑張ります。(大)
- 沈君 昨日はmyさくらの手入れ、皆さんご苦労様でした。本日は小林様よろしくお願ひします。(大)
- 重信君 担当例会です。小林様よろしくお願ひします。
- 松本君 myさくら、たくさんの参加、ありがとうございました。
- 安藤君 昨日のmyさくらの手入れ、多くの会員に参加していただきました。ありがとうございました。
- 上田君 昨日のmyさくら、お疲れ様でした。欠席しました。小林様をお迎へして。
- 中西君 myさくらの手入れ、暑い中ご苦労様でした。
- 小根森君 昨日はmyさくらお疲れ様でした。子育て支援室の小林様を迎へて。
- 平田君 三次市子育て支援室、小林様をお迎へして。昨日のmyさくら、ご苦労様でした。
- 山縣君 G7広島サミットでTOMOEワイン4品種を提供していただきました。日頃から応援していただいている全ての皆様に感謝します。

ニコニコBOX本日出宝額 14,000円



5月21日(日)
myさくらの肥料をあげました。
myさくら会員、ロータリー会員合わせて40名以上ものご参加をいただき、ありがとうございました。

■プログラム《なるほど出前講座》……………青少年奉仕委員会

皆様、こんにちは。本日は青少年奉仕委員会の担当例会で、「みよしなるほど！出前講座」を活用して、三次市子育て支援課 小林様から「三次市子どもの未来応援宣言」についてお話しいたします。

さて、皆さん、「三次市子どもの未来応援宣言」をご存知でしたか？ 私は恥ずかしながら今回初めて知り、HPなどで少し調べてみました。

この応援宣言の策定にあたっては、平成28年度から教育機関等との意見交換をはじめとする調査・研究を始められ、取り組み内容の検討をし、「三次市子どもの未来応援宣言策定市民会議」を設置されました。そして、6回にわたって活発な議論を行なわれ、平成29年12月市議会定例会に提案し、議決され、平成29年12月21日に制定されています。

また、応援宣言のめざす姿を具体的に実現していくため、平成30年1月に三次市子どもの未来応援宣言推進委員会及びプロジェクトチームを設置され、「三次市子どもの未来応援宣言取組基本方針及び個別事業」を策定。この方針に沿って、今現在も、毎年度、個別事業を検討し、実施されています。

この応援宣言の柱として、子どもたちの未来は地域の未来。その子どもたちを育てるため「可能性と希望、そしてチャレンジ」の3つが重要だと考えられています。

この「三次市子どもの未来応援宣言」での様々な取組を学ぶことにより、ロータリークラブでの青少年奉仕への取組のヒントになればと思いますので、本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、小林様、よろしくお願いいたします。

重信 優 青少年奉仕委員長

三次市子どもの未来応援宣言

— 可能性と希望、そしてチャレンジ —



三次市子育て支援部子育て支援課
保育係
係長 小林 大策



三次市役所子育て支援課の小林と申します。本日は、出前講座をご利用いただきありがとうございます。ごぞいます。

早速、「三次市子どもの未来応援宣言」について、資料に沿ってお話を進めます。

【はじめに】

子どもたちの未来は地域の未来です。その子どもたちを育てるため、「可能性」「希望」「チャレンジ」の3つが重要だと考えました。

様々な取組と努力の中でも、人口減少・少子高齢化は進行しています。

「三次市子どもの未来応援宣言」をもとに、市民と地域、行政、学校などが力を合わせ、三次市で生まれ育つすべての子どもの可能性を伸ばし、希望を与え、チャレンジを応援する取組を進めていきます。

【取組の背景①】

出生率の低下

子どもの貧困により、生活習慣の乱れ、教育力の低下など、子どもの減少だけでなく、生育環境の変化に課題が及び、貧困の再生産とも言える状況を生み出している。

【取組の背景②】

●国の動向 法律の制定など、内閣府、文部科学省、厚生労働省などが連携して取り組む

●広島県の動向 貧困対策計画「ひろしまファミリーミリー夢プラン」

「子どもの未来応援計画推進会議」の設置→オール広島県による子どもの貧困連鎖防止対策

【取組の背景③】 本市の取組

子育て・福祉・教育分野の職員を中心に、子どもの貧困対策に関する調査・研究（平成18年度）

貧困問題への対応だけでなく、すべての子どもに対し、それぞれの可能性を活かすことを応援する実効性のある取組に全力で取り組むことが必要。→「三次市子どもの未来応援宣言」により、基本理念、取組の方向性を示す。

【応援宣言の策定】

子どもの支援に関わっている方、住民自治組織推薦者、公募市民、有識者等で組織する「三次市子どもの未来応援宣言策定諮問会議」を設置(平成29年度)

6回の熱心な議論により、応援宣言(案)をまとめると同時に、関係団体へのヒアリング、パブリック・コメント等を実施

市議会定例会へ提案し、「三次市子どもの未来応援宣言」を策定(平成29年12月)

【三次市子どもの未来応援宣言】

～可能性と希望、そしてチャレンジ～

子どもたちの未来は地域の未来です。私たちは、三次市で生まれ育つすべての子どもたちの可能性を伸ばし希望を支え、チャレンジを応援します。

私たちは、力を合わせて子どもたちの未来を全力で応援することによって、三次市が「いつまでも住みたい地域、いつかは帰ってきたい地域」となることをめざします。

私たちは、

【子どもたちの可能性を伸ばします】

～自然の中での実体験や文化体験を乳幼児期から重視～

私たちは子どもたちに、豊かな自然・文化・地域のつながりを通して、実感の持てる多様な体験の機会を提供できます。これらの実体験を活かして、乳幼児期から一人ひとりの可能性を伸ばし、豊かな人格と感性を育てます。

【子どもたちの希望を支えます】

～子どもの貧困、虐待、いじめ、発達支援などへの取組と継続支援～

様々な要因によって社会からの支援を要する子どもたちがいます。私たちは生育環境や教育

環境を整え、居場所づくりなどに取り組むことによって、すべての子どもたちが希望を持ち、それを実現できるよう支えます。

【子どもたちのチャレンジを応援します】

～自ら考え一歩前に踏み出す行動力と創意工夫する心をサポート～

私たちは、子どもたちが自ら考え、具体的に一歩を踏み出し、わくわく生き生きと多様なチャレンジをしていくことを、全力で応援します。

【応援宣言に基づく主な事業】

ネウボラみよし

(三次市妊婦・出産・子育て相談支援センター)

妊娠期から18歳(高校卒業)まで、切れ目のない相談支援を行う

*市役所東館2階に拠点を設置

妊婦全国訪問

課題の早期発見・早期支援に取り組むため、保健師等が妊娠8ヶ月の妊婦全員を家庭訪問し、相談に対応

【おわりに】

子ども一人ひとりを大切に、自立と活躍を応援することは、三次市のまちづくり、ひとづくりにつながります。市では、応援宣言を子育ての基本理念として位置づけ、様々な取り組みを進めていきます。

子どもたちの未来のために何ができるか、皆さんと一緒に考え、取組んで行きたいと思えますので、これからもよろしく願いいたします。

本日はありがとうございました。



■謝辞.....沈 会長

■点鐘.....沈 会長

SAA より 本日、14時から24FIT ストレングスジムの無料体験ができます。